

まだまだあります その1

ジェンダーフォーラム選定資料リスト

タイトル ★クリックすると立教大学 OPAC にリンクします	著者／編者／訳者、出版社、出版年
『 女ざらい——ニッポンのミソジニー 』	上野千鶴子（著）、紀伊国屋書店、2010年／朝日新聞出版社、2018年（文庫版）
『草むらにハイヒール——内から外への欲求』	小倉千加子（著）、いそっぷ社、2020年
『 はじめてのジェンダー論 』 【ebook】『 はじめてのジェンダー論 』	加藤秀一（著）、有斐閣、2017年
『 お砂糖とスパイスと爆発的な何か——不真面目な批評家によるフェミニスト批評入門 』	北村紗衣（著）、書肆侃侃房、2019年
『 「女の子」は学校でつくられる 』	サドカー、マイラ&デイヴィッド（著）、川合あさ子（訳）、時事通信社、1996年
『読書する女たち——フェミニズムの名著は私の人生をどう変えたか』	スタール、ステファニー（著）伊達尚美（訳）、イースト・プレス、2020年
『 ジェンダー論をつかむ 』	千田有紀／中西祐子／青山薫（共著）、有斐閣、2013年
『 説教したがる男たち 』	ソルニット、レベッカハーン（著）小路恭子（訳）、左右社、2018年
『 家事労働ハラスメント——生きづらさの根にあるもの 』	竹信三恵子（著）、岩波書店、2013年
『 ジェンダー・トラブル——フェミニズムとアイデンティティの攪乱 』	バトラー、ジュディス（著）、竹村和子（訳）、青土社、1999年
『 フェミニズム大図鑑 』	マッケン、ハンナほか（著）最所篤子／福井久美子（訳）、三省堂、2020年
『 私たちにはことばが必要だ——フェミニストは黙らない 』	イ・ミンギョン（著）、すみみ（訳）、タバックス、2018年
『 LGBT を読みとく——クィア・スタディーズ入門 』	森山至貴（著）、筑摩書房、2017年
『 ゲイの可視化を読む——現代文学に描かれる〈性の多様性〉？ 』	黒岩裕市（著）、晃洋書房、2016年
『 「からゆきさん」——海外〈出稼ぎ〉女性の近代 』	嶽本新奈（著）、共栄書房、2015年
『 戦争とトラウマ——不可視化された日本兵の戦争神経症 』	中村江里（著）、吉川弘文館、2018年
『 消滅世界 』	村田沙耶香（著）、河出書房新社、2015年
『 問題だらけの女性たち 』	フレミング、ジャッキー（著）、松田青子（訳）、河出書房新社、2018年
『 北欧に学ぶ小さなフェミニストの本 』	ブルーグレーン、サッサ（著）、枇谷玲子（訳）、岩波書店、2018年
【映画】『セルロイド・クローゼット』 ★残念ながら立教大学図書館では所蔵していません	エプスタイン、ロブ／フリードマン、ジェフリー（1995）
【映画】『 何を怖れる——フェミニズムを生きた女たち 』 ★残念ながら立教大学図書館では所蔵していません	松井久子（2016）